

銀行名	千葉興業銀行
タイトル	総額 5 億円の D D S 実行による事業再生支援
取組み内容	<p><b>【会社概要】</b> 明治 3 0 年創業の砂利・砂・碎石の採取及び販売業者。 千葉県・茨城県に 3 営業所を展開し、4 0 人弱を雇用している事業者です。</p> <p><b>【経緯】</b> 各営業所による独立採算制をしていた為、営業所を統括する担当取締役の独断専横により財務基盤が大きく毀損し、長らく債務超過の状態が続いていました。 そのため、返済条件緩和対応による資金繰り支援を行ってまいりました。</p> <p><b>【支援内容】</b> 総額 5 億円の D D S の実行。 事業再生計画策定支援。 ・ 自社採取の山砂に付加価値をつけ、収益力の向上を図る。 ・ 遊休不動産（担保・非担保）の売却促進による有利子負債の削減など仕入先に対する支払承諾を支援。</p> <p><b>【取組効果】</b> 足元業績は震災復旧や首都圏のインフラ整備などの需要増加により堅調に推移しています。加えて、不動産市況の好転もあり、遊休不動産の売却が想定以上に進み、計画数値を大幅に上回るピッチで有利子負債の削減が図れています。 今後とも、事業者と相談し必要な設備資金などのニーズに応えていく方針です。</p>

銀行名	千葉興業銀行
タイトル	海外ビジネス戦略推進支援事業への申請サポート強化
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「経営革新等支援機関」制度のもとで、予ねてより独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）の専門家派遣制度等を活用した企業の経営課題解決への取組みを行ってきました。本年度は更なる支援体制の強化を図ることを目的に中小機構との「業務連携・協力に関する覚書」を締結いたしました。</li> <li>・特に、企業の国際化支援での取組強化を図るため、当行行員を中小機構が主催する「認定支援機関向け海外展開支援研修実践編」に派遣いたしました。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年 3 月より受付開始された「海外ビジネス戦略推進支援事業」を広く当行取引先企業に案内を実施いたしました。海外ビジネスを検討している企業の情報収集を行い、申請希望の企業に対して当行専門家がヒアリングを行いました。その後、申請を決定した企業に対して、申請に必要な自社の経営課題分析や海外展開計画の策定や投資計画の策定などの支援を行いました。</li> <li>・受付期限までに 5 社の申請サポートを実施いたしました。各企業の事業内容や将来の事業計画を深く検証したことにより、企業との更なる関係強化に繋がった事例です。</li> </ul> <p><b>【取組みの効果】</b></p> <p>本取組みを通じて企業の実態把握が深く出来たことに加え、企業の事業計画や社長の想いなどに対して具体的に関与できました。補助事業の採択の可否に関わらず、このような形でのコンサルティング機能の発揮は、認定支援機関の知見を企業と共有することで、申請書類の精度を高める効果があったものと思料いたします。</p>

銀行名	千葉興業銀行
タイトル	「相続時清算課税制度利用した後継者への円滑な株式移転事例」
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A社は千葉県内で葬儀業を経営する企業。高格付先だが当行は準メイン行でした。</li> <li>・ 従前に代表者の交代は終わっていたが、自社株式の大半を前社長が所有したままででした。</li> <li>・ 前社長は78歳と高齢であったが、株式の承継や相続対策に関して顧問税理士やメイン行からも特段アドバイスなく、次の世代の為に効果的に資産を残す方法やタイミングが分からないことに悩みを抱えていました。</li> <li>・ 支店担当者が上記相談を受け、解決策提案の為、本部（営業統括部ソリューション支援室）帯同のもと訪問いたしました。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <p>直近の決算では株価が例年より低額となる可能性があることを説明いたしました。当行の提携先税理士法人を紹介し、自社株評価と今後の対策について共同して提案させて頂くことに同意頂きました。</p> <p>相続対策の一環として自社株を低額のタイミングでの移転を提案いたしました。</p> <p>複数の選択肢を吟味した結果、相続時清算課税制度を利用し自社株の事業後継者への贈与及び株価の固定を実施いたしました。</p> <p>前社長については事業後継者の他にも推定相続人がおり、自社株式が前社長の相続財産の大半を占める為、遺留分をはじめとした遺産分割に関する問題点の整理を行いました。</p> <p><b>【取組み効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お客様からは「財産の承継について漠然とした悩みが、今回の取組みによって十分交通整理出来た。今後も何かあれば当行に相談したい」と感謝されました。貸出については当行がトップシェアを確保。個人資産運用についての相談もあり、取引深化に成功いたしました。</li> <li>・ 今回の取組みで前社長だけでなく現社長との信頼関係も構築できました。</li> </ul>

銀行名	千葉興業銀行
タイトル	夏休み体験隊「サマーキッズスクール2014」の開催
取組み内容	<p>次世代育成支援を目的に、平成19年より実施している金融教育・しごと体験イベントで、平成26年で8回目の開催となります。</p> <p>県内在住の小学校5・6年生30名が参加しました。また当行でのインターンシップに参加している大学生が、カリキュラムの一環として協力しました。</p> <p>当日は、千葉商科大学大学院教授 伊藤宏一先生を講師に「お金って何?」をテーマとして、お金の意味や使い道などについて学習し、続いてQVCマリーンフィールドにて、当日のマリーンズ戦プログラムを大学生のお兄さん・お姉さんと一緒に販売する「働く」体験(働いてお金を稼ぐ)をすることで、仕事により得た大切なお金に関する理解を深めていただきました。</p>

夏休み体験隊

# サマーキッズスクール2014

今年も子どもたちのための“お金”に関する体験学習講座 夏休み体験隊「サマーキッズスクール2014」を開催します。みなさん奮ってご応募ください。

## サマーキッズスクールの内容

### 1. お金について学ぼう！

子どもたちに対する金融教育の分野で豊富な経験を持つ 伊藤宏一先生（千葉商科大学人間社会学部教授）から“お金”について「学び」ます。

### 2. 体験しよう！

QVC マリンフィールド内で、当日の試合プログラムを大学生のお兄さんお姉さんと一緒に販売し「しごと」（働いてお金を稼ぐ）を体験します。

### 3. 使い方を考えてみよう！

しごとにより得た“お金”の「使い方」を伊藤先生と一緒に考えます。

## 《サマーキッズスクール・応募要領》

- 【開催日時】 平成26年8月20日（水）  
開始時刻 14:00 解散予定時刻 17:00 頃  
（プログラムの内容により変更となる場合があります）
- 【開催場所】 QVC マリンフィールド
- 【募集人数】 児童30名程度  
当日は保護者の方1名の付き添いをお願いいたします。  
（スクールへの同伴はできませんので予めご了承ください）
- 【特典】 スクール終了後、当日の観戦チケットをプレゼント
- 【参加費】 傷害保険料として、100円をご負担いただきます  
（往復交通費等は各自のご負担となります）
- 【応募資格】 千葉県内に居住、または千葉県内の学校に通う小学校  
5年生・6年生の児童  
（昨年本スクールに参加された児童は応募対象外となります）

## 「サマーキッズスクール 2014」応募方法

**往復はがきで下記事務局宛てご応募ください。**

お子さまお一人につき1回のご応募とさせていただきます。

はがきの裏面に、以下の事項をご記入ください。

- ① 参加される児童のお名前（ふりがなを付けてください）と性別、学年
- ② 付き添いされる保護者の方のお名前と続柄
- ③ ご住所、郵便番号、付き添いの方の携帯電話番号

### 事務局（応募先）

〒261-0001 千葉市美浜区幸町2-1-2

千葉興業銀行 お客さまサービス部内

サマーキッズスクール 2014事務局 行

(TEL. 043-243-2111)

応募締切

平成26年7月18日（金）の消印まで有効

### 当落の結果

抽選の結果は7月25日（金）までに往復はがき返信にて回答いたします。

### ご当選手続き

ご当選された方には、手続き書類一式をご送付いたします。

この書類に含まれている申込書等を期限内にご返送いただけた方が、最終的に、スクールへ参加することのできる受講生となります。

期限内にお申し込みがない場合、または期限を過ぎた場合は、当選無効となり次点の方が当選となりますのでご承知おきください。

### ★個人情報の取扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、本スクールの運営目的以外には使用いたしません。

なお、個人情報は当行において適切に保管管理いたします。

主催 千葉興業銀行

協力 千葉ロッテマリーンズ

後援 千葉市

千葉県金融広報委員会



銀行名	千葉興業銀行
タイトル	～仕事と子育ての両立～「子育てお母さん応援講座」開催
取組み内容	<p>千葉県が推進する「女性の再就職支援」事業の中の一部講座を当行が担当し、再就職を目指す県内の女性を対象に開催いたしました。</p> <p>「職場見学」や「従業員との懇談」等を通して、職業理解の機会を提供し、仕事と子育ての両立を目指す県内の女性の再就職を応援しております。</p>

銀行名	千葉興業銀行
タイトル	千葉県安心こども基金
取組み内容	<p>当行とメットライフ生命保険は、平成 24 年度から開始した共同社会貢献プログラムの第 5 期寄付金を「千葉県安心こども基金」に贈呈いたしました。</p> <p>当行とメットライフ生命保険は、千葉県が設置した「千葉県安心こども基金」に共同で寄付を行うことにより千葉県の子育て家庭を応援します。県内の金融機関として、また生命保険会社として初めての取組みとなります。</p> <p>本寄付金は、「千葉県安心こども基金」を通じて千葉県が行う様々な子育て支援施策に活用されます。なお、本活動は、千葉県が推進する企業参画型子育て支援事業(「チーバくんを活用した子育て応援事業」)に対する協同事業の一つとして承認されております。</p>



**株式会社千葉興業銀行とメットライフ生命保険株式会社による共同社会貢献プログラム  
 第5期寄付金の贈呈について**

株式会社千葉興業銀行（頭取 青柳 俊一、以下千葉興業銀行）と、メットライフ生命保険株式会社（代表執行役 社長 サシン・N・シャー、以下メットライフ生命）は、2012年に開始した共同社会貢献プログラムの第5期寄付金を「千葉県安心こども基金」に贈呈いたしました。

本寄付金は、「千葉県安心こども基金」を通じて千葉県が行う様々な子育て支援施策に活用されます。

なお、本活動は、千葉県が推進する企業参画型子育て支援事業（「チーバくんを活用した子育て応援事業」）に対する協賛事業（※）の一つとして承認されております。

（※）事業者が千葉県に対する子育て応援のための協賛金の寄付や、県の子育て応援に関する広報のサポート等

記

### 1. 第5期寄付金の贈呈について

- (1) 贈呈者：千葉興業銀行、メットライフ生命
- (2) 贈呈先：千葉県安心こども基金
- (3) 贈呈金額：62万1,000円（千葉興業銀行 31万500円、メットライフ生命 31万500円）

### 2. 共同社会貢献プログラムの目的

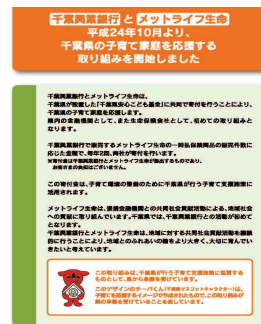
次代の担い手となる子どもたちの健やかな成長と子育て家庭の支援を目的としております。地域に根ざして事業を行い、地域社会の活性化と持続可能性を高めることを目指す千葉興業銀行と、日本初の外資系生命保険会社として保険を通じてお客様の人生に寄り添ってきたメットライフ生命は、本業におけるお客さまの安心のための基盤づくりのサポートに加え、それぞれの理念に基づいた社会貢献活動に積極的に取り組んでおります。本取り組みは、次世代の担い手となる子どもたちの支援という観点で同じ志を持つ2社が連携し、千葉興業銀行の地域社会である千葉県に継続的に寄付を行うことで、千葉県の子育て家庭を応援する社会貢献活動です。

### 3. 共同社会貢献プログラムの概要

千葉興業銀行で取り扱っているメットライフ生命の一時払保険商品の6か月間毎（上期：4月～9月、下期：10月～3月）の販売件数に500円を乗じた金額を、両社それぞれが寄付します。第5期寄付金は平成26年4月～平成26年9月分となります。今後も年に2回、継続して寄付を行ってまいります。

### 4. 「チーバくんを活用した子育て応援事業」について

千葉県が推進する企業参画型子育て支援事業の一つで、千葉県から承認を受けた協賛事業者は、千葉県に対する子育て応援のための協賛金の寄付や、県の子育て応援に関する広報のサポート等を行います。千葉興業銀行とメットライフ生命はそれぞれ、金融機関として、また生命保険会社として初めて協賛事業者として承認されております。



※寄付金は千葉興業銀行とメットライフ生命が拠出するものであり、お客さまの負担はございません。

※千葉興業銀行で現在取り扱っているメットライフ生命の一時払い保険商品（平成26年9月30日現在）

定額個人年金保険「三大陸」、一時払終身保険「ピーウィズユー」「サニーガーデン」、一時払終身医療保険「プライムロード」

以上

本件に関するお問合せ

株式会社 千葉興業銀行  
 経営企画部 弓家 TEL (043) 243-2111

メットライフ生命保険株式会社  
 広報部 赤石、宮田 TEL (03) 6658-2295